

# 名古屋外国語大学海外派遣プログラム成果報告書

2023年 2月 28日

学部・学科名 言語教育開発センター, PLP 韓国語

担当教員氏名 齋藤 絢 (PLP 韓国語コーディネーター)

1. 区分	中期留学 ・ <b>語学研修</b> ・ 海外実習												
2. プログラム名称	2022年度夏期韓国語短期研修												
3. 渡航先国名	大韓民国 ※オンライン方式で開催されたプログラムに参加												
4. 派遣期間	2022年8月8日(月)～2022年8月27日(土) 20日間(※土日を除く)												
5. 派遣先教育機関名	釜山外国語大学校 韓国語文化教育院												
6. 参加学生数	4名												
7. 派遣目的	釜山外国語大学の韓国語教員による授業(リスニング、会話、読解、作文や韓国文化に関する内容)及び文化体験プログラムに参加し、韓国語運用能力を向上させ、韓国文化に対して理解を深める。												
8. 派遣内容	<p>プログラム概要</p> <table border="1"><thead><tr><th>韓国語 会話</th><th>実践 韓国語</th><th>発音</th><th>特別授業</th><th>文化</th><th>合計時間</th></tr></thead><tbody><tr><td>30時間</td><td>26時間</td><td>4時間</td><td>8時間</td><td>8時間</td><td>76時間</td></tr></tbody></table> <p>韓国語研修は20日間実施され、参加者は韓国語教員が担当する1コマ50分の授業(9時00分～9時50分、10時00分～10時50分、11時00分～11時50分、12時00分～12時50分)を一日4コマ受ける。前半の2コマは「韓国語会話」で語彙や文法、発音などの指導を受ける。後半の実践韓国語では、韓国語会話での学習内容を実践的に活用し、リスニング力、会話力、読解力、文章表現、韓国文化への理解を深め、受講生が積極的に参加し韓国語の言語</p>	韓国語 会話	実践 韓国語	発音	特別授業	文化	合計時間	30時間	26時間	4時間	8時間	8時間	76時間
韓国語 会話	実践 韓国語	発音	特別授業	文化	合計時間								
30時間	26時間	4時間	8時間	8時間	76時間								

	<p>能力を向上させることを目的とした授業が展開される。また、全日程のうち4コマにおいては特別授業や文化授業が設けられ、学習者が韓国社会・韓国文化を身近に感じ、言語力の向上に繋がるよう、担当教員や参加者同士のコミュニケーションを深める工夫がなされている。</p>
<p>9. 成果</p>	<p>研修は zoom で開催されたオンライン方式のプログラムへの参加となり、継続的に PC のスクリーンを見続けることや、韓国人教員や他の参加者とのコミュニケーションに対して不安を抱きやすい環境で言語研修をスタートすることとなったが、参加者からは、毎日決まった時間に韓国語を学習する習慣が 20 日で定着していき、PC が資材となっていることから、授業内での指示や説明、またコミュニケーション全体に関わる内容について、集中して聞き取らなければならないため、リスニング力が飛躍的に伸びた点が成果として挙げられた。ハングルのタイピングの技術も参加者のレベルに応じて学習内容として扱われ、オンラインでの学習環境に合った学習法が提供されたことで、学習者は安心して韓国語を習得することができ、語彙、文法、文章表現、発音、発声など、対面開催に劣ることなく、韓国語の言語能力を向上させることができたことは、研修に参加した学生たちにとって一つの自身に繋がり、コロナ禍でオンライン化が進む今日の社会環境において自己成長に繋がった点は、成果として挙げられると考える。また、日本国内の他大学からの参加者や外国人学生との出会いも貴重な経験となり、研修修了後も連絡を取り続け、良い友人ができたことに喜びを感じている参加者もいたことも、対面・オンライン方式に関わらず、韓国語研修が、学習者を繋いでいく外国語教育の魅力に触れることができる良い機会となったことと考える。</p>
<p>10. 備考</p>	

以上

## 世界とつながる韓国語

英米語学科英米語専攻2年

依田夏実

日本では、アイドルやドラマ、ファッションなど多くの分野で韓国に関連したものが流行しています。私自身も韓国の文化に興味があり、複言語では韓国語を履修して日々韓国語の勉強を行ってきました。

また、海外からの旅行規制も少しずつ緩和されており、日本から近い韓国からの旅行客が今後増加することが見込まれます。そこで、夏季休暇中の時間を活用してさらに韓国語能力を高めたいと思い、今回の短期オンラインプログラムに参加することを決めました。

今回のプログラムでは、「読む、書く、話す」を短期間で集中的に取り組みました。例えば、「話す」分野では発音矯正をしていただく機会がありました。オンラインということで心配もありましたが、先生方が私たちの発する音だけでなく、口の形も確認して正しい発音ができているのかをしっかりと確認しており、間違っているときは指摘してくれ、もう一度丁寧に正しい発音の方法を教えていただきました。他にも会話文を話すときに付くイントネーションも教えていただいたことで、よりネイティブに近い話し方を学びました。

現在、大学のプログラムを活用して海外にいます。クラスメイトに韓国からの生徒が数人いるのですが、その子たちと仲を深める時に今まで学んできた韓国語の知識が役に立ちました。世界共通語である「英語」に加えてもう一つ他の言語を少しでも話すことが可能になると、さらに新たなコミュニティで多種多様な文化を学ぶことができると思います。加えて、韓国語は日本語と発音が似ている単語が多いだけでなく、語順も大変似ている点から取り組みやすい異国の言葉です。このような理由から、複言語として選択するには強く推奨したい言語です。

昨年度の夏季休暇中はコロナ禍ということで韓国へ気軽に行くことができない状況ではなかったため、私はオンライン短期研修を選択しましたが、有効に時間を活用して韓国語学習に取り組めたと感じます。今後も韓国語の勉強を続けていくことで、自己啓発に努めたいと思います。